

熱中症は予防が大事！！

◎熱中症とは？

温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどい時にはけいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

お子さんやご高齢の方は熱中症にかかりやすいため、特に注意が必要です！

◎熱中症予防のポイント

- ・部屋の温度をこまめにチェック！
- ・エアコンや扇風機を上手に使いましょう！
- ・のどが渇かなくてもこまめに水分補給！
- ・外出の際は体を締めつけない涼しい服装で、日よけ対策も！
- ・無理をせず、適度に休憩を！
- ・日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！



◎もしも熱中症になってしまったら・・・

- ・涼しい場所や日陰のある場所へ移動し、服を緩め、安静に寝かせる！
- ・エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす！
- ・意識の異常、けいれんなどが認められた場合はすぐに救急車を要請する！



救命講習会の開催について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため救命講習会は当面の間中止となりました。

6月以降の開催についても現時点では未定となります。

講習会の詳細は、平田分署へお問い合わせいただくか須賀川地方広域消防組合ホームページをご覧ください。

石川消防署平田分署 (☎ 0247-55-2213 FAX0248-94-2079) <http://www.sukagawa119.jp>

公立小野町地方総合病院

(訪問看護ステーション こまちの里)



遠藤 恭子 さんを設け、その手順に沿って行うことができます。この行為は38行為あり、それぞれ取得する必要があります。

私は昨年3月に特定行為研修を修了いたしました。この研修は看護師が医師の指示を待たずに医療行為をすることができるというもので、医学生と同等の学びをe-ラーニングと授業を組み合わせで行いました。特定行為は様々な決まりや技能を要するため、医師との間に手順書(マニュアル)を設け、その手順に沿って行うことができます。この行為は38行為あり、それぞれ取得する必要があります。

今回の私が取得した行為は、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整、脱水症状に対する輸液による補正)です。私は訪問看護に在籍しておりますが、利用者さんに対し、医師からの手順書の範囲内であれば行為を実行することができます。

そのほか多職種との連携を重視し、適切な医学的介入を目指しております。今後の当院の発展に貢献していければと思っております。

新型コロナウイルスワクチン接種状況と今後のスケジュール

65歳以上高齢者の1回目のワクチン接種（集団）の接種状況は下記のとおりです。

■接種状況

	1回目接種人数	接種率
65歳以上高齢者	1,829人	88.7%

令和3年5月31日現在

■今後のスケジュール

現時点のスケジュールですので、ワクチンの供給量によって変更する場合があります。
基礎疾患のある方・60～64歳の方の詳しい予定については、5月28日発行の『新型コロナウイルスワクチン接種案内』をご覧ください。（村ホームページにも掲載しております。）

		5月	6月	7月
優先順位 高	65歳以上高齢者	1回目接種	2回目接種	
	基礎疾患がある方 (16歳～49歳) (※) 下記の方は除く		予約受付 6/7～6/15 (平日のみ)	1回目接種 6/27・7/4 実施
	50歳～64歳の方・ 下記(※)の基礎疾患 がある方		接種券等発送 接種日を指定し 発送します	1回目接種 6/27・7/4 実施
	その他の一般の方			接種券等発送 年齢ごとに段階的に発 送します

(※) 重度心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）、精神疾患の治療のため入院している方、精神障害保健福祉手帳や療育手帳、自立支援医療を所持している方→**予約は必要ありません**

健康福祉課 ☎55-3119

ひらた中央病院



小原 大治 医師

今回は当院の救急医療体制についてお話します。当院は石川郡で唯一の救急受け入れ病院です。最近では新型コロナの為、救急車のたらい回しで、須賀川、いわきからの要請が多くありますが、全てには対応できません。限られた病床で急患を受け入れる為、優先順位があります。最優先は当院、中島医院通院の方、次は他院通院で当院のデイサービス、リハビリ利用者、最後が他院通院の方です。平田村は小野地方総合病院に補助金を出していますが、同院は土日夜間の急患はかかりつけでも一切受け入れていません。この為、小野町の医療機関に通院中の方が急病になると、郡山、いわきに搬送されるケースが多発しています。これは他院への悪口ではなく、事実です。平田村で地域医療をする身として、平田村の方は当院への通院を勧めます。

問い合わせ：ひらた中央病院 ☎55-3333